

## 第7章 河川空間の利用状況

### 7 - 1 河川の利用状況

#### (1) 河川の利用状況

天竜川上流域では、ザザムシ漁や鮎釣り等の伝統的な漁業や灯籠流しや花火大会等の祭事など、古くから地域に根付いた利用の他、急流や渓谷を活かした観光舟下りやカヌー、ラフティングの利用が活発に行われている。また、水辺の楽校や天竜川総合学習間「かわらんべ」が整備されており、河川の環境学習利用も行われている。

中流域は、天竜峡が名勝に指定されており景勝地として親しまれており、観光舟下りも行われている他、豊かな渓流環境を利用したキャンプ利用、船明ダム湖では、レガッタやカヌーなどの水面利用も盛んに行われている。

下流域は、広い河川敷と整備された河川公園を利用して、スポーツや散策が盛んで、花火大会や凧揚げ大会などにも利用されている。また、鮎釣りが盛んなほか、船明ダム下流では、観光舟下りも行われている。安間川合流点、一雲済川合流点は、水辺の楽校に登録されており、環境学習利用も行われている。



ざざむし漁



かわらんべ



ラフティング



キャンプ場



高水敷の利用（野球）



水辺の楽校いわた

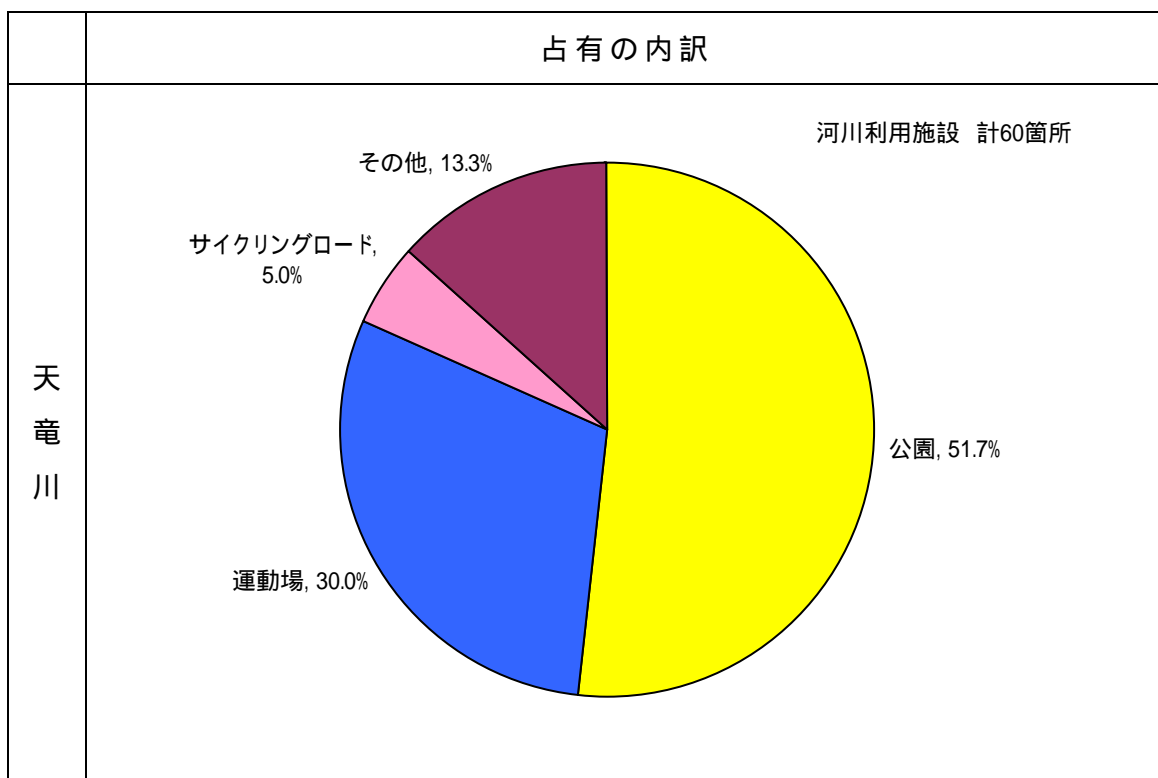
(2) 河川敷の利用状況

天竜川の大臣管理区間では、公園、運動場、サイクリングロードなどの利用施設が数多く整備されている。

利用施設数は60カ所で、公園が約52%、運動場が約30%を占めている。

下流域は、鹿島より下流で高水敷が全川で整備されており、公園、運動場の割合が大きい。

表 7 - 1 河川敷の占有状況



出典：平成18年度河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査）より作成

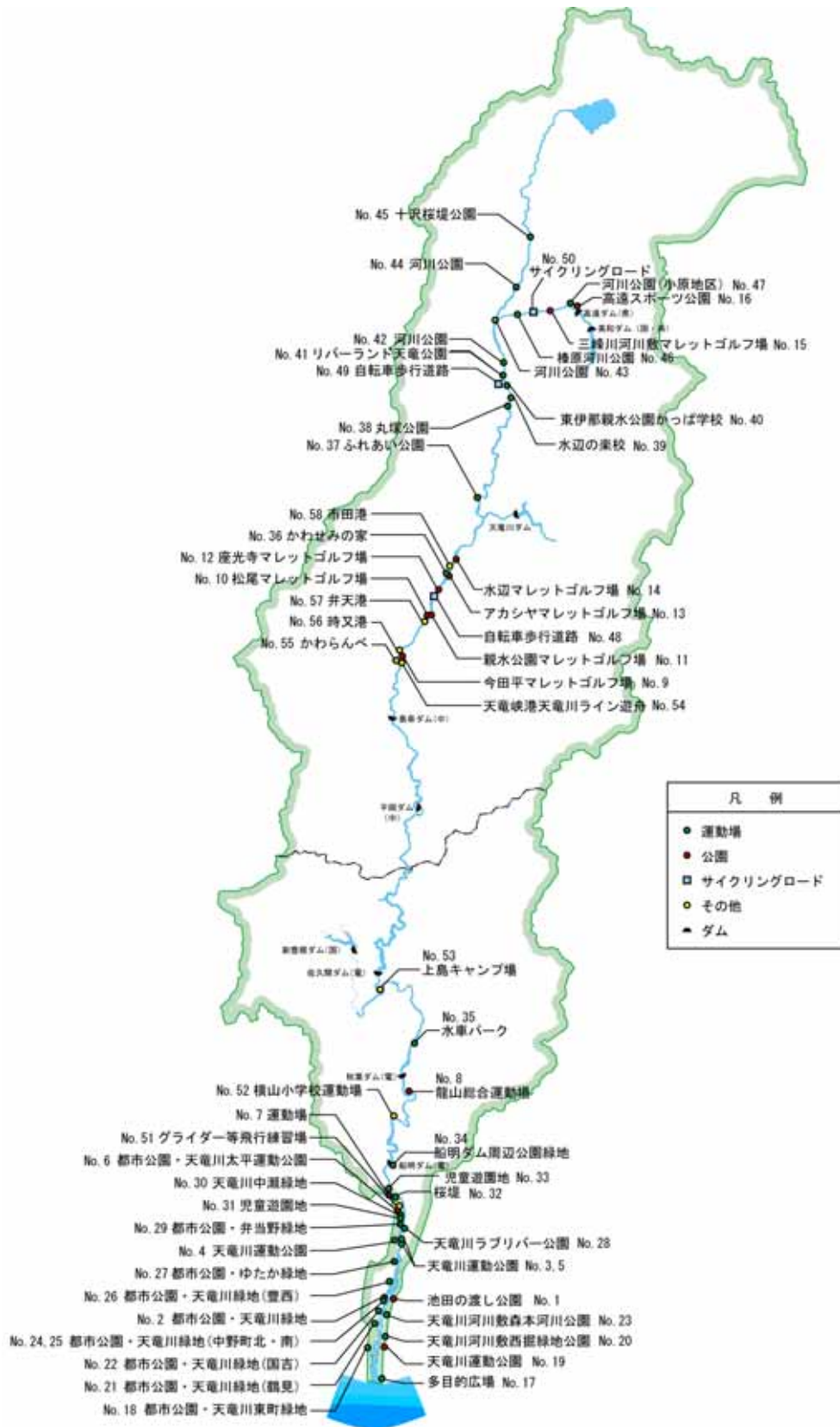










図 7-1 河川の利用状況

### (3) 河川利用実態

平成 18 年度の年間河川利用者数総計（推計）は、約 185 万人である。利用形態別では、散策等が 45%と最も多く、次いでスポーツが 26%、水遊びが 24%、釣りが 5%となっている。利用場所別では、高水敷が 54%と最も多く、次いで水面が 23%、堤防が 17%、水際が 6%となっている。「散策」「スポーツ」の利用形態が高くそれに対応して、「高水敷」の割合が高いことは、グラウンドや河川公園の整備が進んでいることを反映している。

表 7 - 2 年間河川空間利用状況

単位：千人

区分	項目	年間利用者数(千人)			利用状況の割合		
		平成12年度	平成15年度	平成18年度	平成12年度	平成15年度	平成18年度
利用形態別	スポーツ 	894	727	488			
	釣り 	276	258	85			
	水遊び 	545	429	441			
	散策等 	1,410	1,110	837			
	合計	3,125	2,524	1,851			
利用場所別	水面 	427	455	417			
	水際 	395	232	109			
	高水敷 	2,006	1,486	1,011			
	堤防 	299	351	314			
	合計	3,127	2,524	1,851			

#### (4) 内水面漁業

天竜川水系の内水面漁業権は、表に示すとおり合計 16 の漁業権(免許)があり、各々の漁業権毎に対象魚種が設定されている。アユやアマゴなどが放流されており、特にアユ釣りは有名で県内外から多くの釣り人が訪れる。

また、上流域の上伊那地方を中心にヒゲナガカワトビケラなどの水生昆虫を採取して佃煮にする「ザザムシ漁」が冬季に行われており、冬の風物詩となっている。

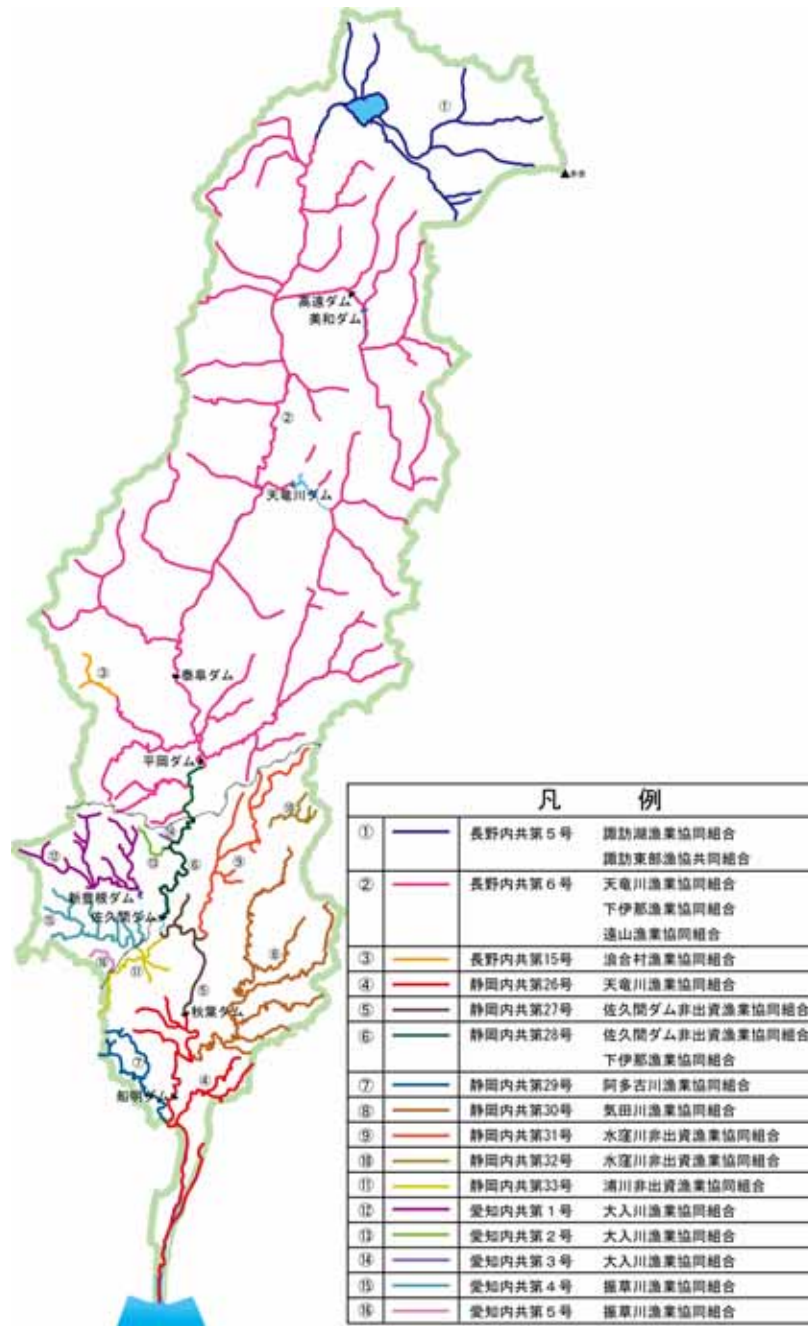


図 7-2 漁業権の設定状況

表 7 - 3 漁業対象魚種

番号	免許番号	漁業協同組合名	対象魚種	管理区間
	長野県知事免許 内共第5号	・諏訪湖 ・諏訪東部	ウグイ、ウナギ、オイカワ、コイ、 フナ、ドジョウ、ナマズ、ワカサギ、 ムロ、 トンコハゼ、ヒガイ、エビ	・諏訪湖及び流入河川（諏訪市から下流） ・天竜川（岡谷市から上流までの本支流） ・上川、宮川（茅野市から上流の区域）
	長野県知事免許 内共第6号	・天竜川 1 ・下伊那 ・遠山	アユ、アマゴ、ウグイ、ウナギ、オ イカワ、コイ、フナ、ニジマス、カ ジカ、 ドジョウ、イワナ	・天竜川（岡谷市・上伊那郡辰野町境界下流～下伊那 郡松川町・上伊那郡中川村境界上流までの本支流 〔浪合村の和知野川を除く〕） ・片桐松川、小渋川（小渋ダムを除く）
	長野県知事免許 内共第15号	・浪合村	アマゴ、イワナ	・和知野川（下伊那郡浪合村の区域）
	静岡県知事免許 内共第26号	・天竜川 2	アユ、アマゴ、ウグイ、ウナギ、オ イカワ、コイ、フナ、ニジマス、ワ カサギ	・天竜川（秋葉ダム下流～河口までの本支流）
	静岡県知事免許 内共第27号	・佐久間ダム非出 資	アユ、アマゴ、オイカワ	・天竜川（佐久間ダム下流～秋葉ダム上流までの本支 流）
	静岡県知事免許 内共第28号	・佐久間ダム非出 資 ・下伊那	ウナギ、コイ、フナ、ニジマス	・天竜川（県境～佐久間ダム上流までの本支流）
	静岡県知事免許 内共第29号	・阿多古川	アユ、アマゴ、ニジマス	・阿多古川本支流
	静岡県知事免許 内共第30号	・気田川	アユ、アマゴ、ウグイ、ウナギ、 オイカワ、ニジマス	・気田川本支流
	静岡県知事免許 内共第31号	・水窪川非出資	アユ、アマゴ	・水窪川（西渡ダムえん堤から上流～水窪ダムえん堤 から下流までの本支流）
	静岡県知事免許 内共第32号	・水窪川非出資	アユ、アマゴ	・戸中川（戸中橋から上流）
	静岡県知事免許 内共第33号	・蒲川非出資	アユ、アマゴ、ウグイ、オイカワ	・大千瀬川（県境～天竜川合流点までの本支流）
	愛知県知事免許 内共第1号	・大入川	アユ、アマゴ、ウグイ、ウナギ、コ イ、フナ、ニジマス	・大入川（新豊根ダムえん堤から上流の本支流）
	愛知県知事免許 内共第2号	・大入川	アユ、アマゴ	・添島川（熊打橋から上流～大沼橋から下流）
	愛知県知事免許 内共第3号	・大入川	アマゴ	・井戸川（戸川橋から上流～西又沢と東又沢との合流 点）
	愛知県知事免許 内共第4号	・振草川	アユ、アマゴ、ウナギ、オイカワ	・大千瀬川（県境から上流の本支流） ・大入川（県境～布滝沢合流点）
	愛知県知事免許 内共第5号	・振草川	アユ、アマゴ、ウナギ、オイカワ	・奈根川（水道取水ダムえん堤から下流～相川との合 流点）

1、2「天竜川漁業協同組合」は長野県と静岡県に同名称で存在

#### (5) ダム水源地域ビジョン

小渋ダム、美和ダムでは、水源地域ビジョンを策定し、ダムを利用した地域の活性化に取り組んでいる。

#### 小渋ダム水源地域ビジョン

### 幸せの交流舞台 こしぶだに

#### 基本理念

南アルプスと天竜川に抱かれた小渋川水源地域の3町村のつながりを強め、協働して地域活性化に取り組んでいます。

水源地域の宝を保全・育成し、日本国内はもとより海外へもその魅力を発進していきます。

この地は安全で住みやすく、心安らく生活の舞台があります。

#### ビジョンの柱と活動テーマ

- 1 小渋川流域住民、関係行政機関の連携
  - 1a 既存民間活動団体の連携
  - 1b 民間団体・住民と行政との協働
  - 1c 行政同士の連携
- 2 小渋川の水を軸とした地域間交流の促進
  - …流域外の交流促進
- 3 小渋川流域の産業の振興と育成
  - …農業の6次産業化
- 4 自然環境・文化環境の活用
  - …南アルプス・中央構造線の自然・歴史文化体験
- 5 地域との連携を促進するための環境整備
  - 5a 川と森の保全・整備（南アルプスは世界の遺産）
  - 5b トータルな情報発信
  - 5c 防災体制の強化
  - 5d 水源地域とのつながり強化

< 参考 > 美和ダム水源地域ビジョン

こころわくわく  
くらしいきいき

三峰川の里

### 基本理念

くらしや生業を活性化し、いきいきとした水源地とします。  
山村文化を地域内で育て楽しむとともに、他地域の人々との交流を促進します。  
南アルプスの山々、三峰川、美和湖・高遠湖の自然環境を保全し、活用します。

### ビジョンの柱と活動テーマ

- A 山・森の保全と活用
- B 河川環境の保全と活用
- C 美和湖・高遠湖環境の保全と活用
- D 山村文化の継承と活用
- E 都市との交流促進と流域連携
- F 地域資源を活かした産業活性化
- G いきいき暮らしづくり